



習慣は身を助ける その1

授業の中で鍛えよう！！

聴く力

一聴く力は、自分も相手も大切に作る人間力ー

社会に出て通用する力=生きる力のひとつとして、コミュニケーション力が必要な大きな力ですが、「話す力」と勘違いしている人がいるようです。「話す」というより、「伝える」ことがとても大切です。相手の考えをしっかりと聞いて伝える。自分の思っていること、考えたことをしっかりと「伝える」ことがとても大切な大きな力となります。しかしながら、その「伝える」力も「聴く」力を育てなければ、しっかりと身にはつきません。「聴く」は、その漢字の成り立ちから「耳と十四の心でつく」といわれるように、心と自分の神経を集中させて「聴く」のです。ちなみに、十四の心とは、「美しい」「新しい」「広い」「楽しい」「うれしい」「面白い」「ほほ笑み」「素晴らしい」「悲しい」「苦しい」「愛(いと)しい」「いたわる」「憂う」「感謝する」心を意味するのだそうです。相手の身になって耳を傾けることが大切であることをまさに漢字が教えてくれていますね。

相手の心に寄り添い、思いやりをもって生きようとするとき、「聴く」力を育てることが、自分自身の「人間力」を育てることにつながるのです。集中力をつけたい！！と思っている人、何よりも「確かな学力」をつけたいと思っている人、「聴く力」をつけることが一番の近道です。

継続は力なり！「毎日の授業を大切に聴くこと」が揺るぎない大きな力に結びつくことは言うまでもありません。

熱唱！！

「心ひとつ」に取り組んだ合唱コンクール

11月13日(水) 本校誠心館で、毎年恒例の校内合唱コンクールが開催されました。体育大会以後、早朝練習に取り組むクラスが日ごとに増え、校内のあちらこちらで美しい声が響いていました。

さすが3年生！1年生より頑張ってきたその歌声は圧巻でした。今年は自由曲に新しい曲が加わり、ひとときわ優劣つけがたい熱戦となりました。来年の合唱コンクールがさらにまた楽しみです。最優秀賞の3年5組が市の連合音楽会に出場しました。

今年も、お忙しい中、多数の保護者・地域のみなさん、東小・津田小6年生の皆さんにご来校いただき、心ひとつに頑張る二中学生の歌声をお聴きいただいたことに心から感謝いたします。有難うございました。



靴箱の靴が

いつもきれいに揃っています！！

5月の二中の輪で、「今年度に入って、感心しているのが、どの学年も靴箱の整理・整頓がとてもきれいなこと・・・。(人知れず、そっとみんなの靴をそろえてくれている先生または生徒のみなさんがいるのでしょうか)」と記事として書いたのですが、12月に入っても、**今なお、本当にきれいに靴箱の靴がそろっているのです！！** 乱れた靴を、誰かが整理・整頓に心がけてくれているのでもなく、まさに二中学生の一人一人の心がけできれいに靴箱の靴がそろえられています。体育の授業で運動場から帰ってきて、一人ひとりがきちんと自分の靴を収めていく様子をほほえましく、嬉しく感じています。毎日の心がけがいつしか習慣として身についています。身についた習慣は自分のもの！！社会に出ると、自然とできる所作が「信頼」へとつながります。



ZZの大学や専門学校にご協力いただきました！

3年生 18歳進路の取り組み

中学卒業後の進路選択が迫る3年生のこの時期に、ほとんどの生徒が高校へ行きたいという意思を持っていますが、高校へ行くことだけが目的になってしまい、高校入学後、目的を失い中途退学してしまう生徒が少なくありません。高校入学はあくまで自分の夢を実現するための通過点であり、そのために18歳になった時の自分の姿を考え、目的意識をもって進路を考えさせるという取り組みを行っています。

桃山学院大学を訪問して

以前、行ったことがあったけれど、今回はじっくりと学校内を見学できてよかった。模擬裁判教室で、裁判官の座る席に座らせてもらい、裁判についてのことや、法学について話を聞かせていただいて、すぐくためになったと思う。裁判は何事にも平等にとらえなくてはならないので、何色にも染まらない「黒」が法学のイメージカラーだと聞いて、なるほどと思った。あと、図書館がすごく広いことにもおどろいた。環境問題についての授業を大学生と一緒に受けて、いきなり、教授に「ゴミはなぜ“問題”なのかとふられたのでびっくりした。(中略) 今回の体験で、自分にとってためになったことはやはり法学についての話を聞いたこと。今回の体験を通して、より一層法学部に入りたいという気持ちが強くなった。

関西外国語大学を訪問して

西門から入った時、大学の中に信号があつてびっくりしました。あと意外と大学が広くて大きくて道に迷いそうになりました。(中略) 最初に見たビデオでは、関西外大の人たちがうつつっていました。みんな自分の夢に向かって頑張っていて、自分も夢をあきらめずに頑張ろうと思いました。短期留学と長期留学の違いもわかって、自分もいつか留学したいと思いました。もっと、世界の人とつながりたいです。

